

平成二年度大会の概況 日本思想史学会平成元年度大会は、十月二十七日（土）・十月二十八日（日）の両日、東北大学を会場として開催された。

第一日は、「中世的宗教の成立と展開」をテーマに主題発表が行われた。発表者と発表題目および司会者は次の通りである。

- 一、旧仏教の中世的展開 盛岡大学 佐藤弘夫
- 一、新仏教の中世的展開 北海道教育大学 佐々木馨
- 一、神道の中世的展開 皇学館大学 白山芳太郎
- 司 会 同志社大学 竹居明男
- 東北福祉大学 高橋美由紀

主題発表終了後、総会が行われ、事務局より平成元年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて事務局より平成二年度事業計画および予算案が提案され、審議の結果、それぞれ事務局案通り決定された。

引き続き、杜仙荘において懇親会が催された。

第二日は、研究発表が行われた。発表者は次の諸氏である。

- 1、律令祭祀と律令外祭祀 大正大学 三橋正
- 2、主体化される自然——萬葉人の自然観—— 奥羽大学 伊藤益
- 3、『神令』は『古語拾遺』の別巻ではないだろうか 『神令』と『古語拾遺』の接点—— 小山 山恵子
- 4、林羅山の老子口義受容 筑波大学大学院 大野出
- 5、十八世紀における博物学的「知」の成立——「大和本草」と「養生訓」—— 大阪大学大学院 松村浩二
- 6、近世武芸思想における倫理観について 筑波大学 前林清和
- 7、本居宣長の幕藩権力への接近 愛知学院大学 岡田千昭
- 8、『金鳥書』の中の世阿弥——或る中世的人間の最晩年—— 筑波大学大学院 白濱好明

- | | | |
|--|------------|-----------|
| 9、千利休における「修行」 | 筑波大学大学院 | 笠井哲 |
| 10、歴史学における根本基準の転換について
——原田実氏の『穆天子伝』研究に寄せて—— | 昭和薬科大学 | 古田武彦 |
| 11、巖本善治と生涯教育 | 放送教育開発センター | 田代和久 |
| 12、歴史の詩学 —— 橘守部の思想 —— | 大阪大学 | スーザン・バーンズ |
| 13、平田篤胤学派の社会構造論 | 大阪大学大学院 | イサム・R・ハムザ |
| 14、安政二年横井小楠における国際観の転回
——『鎖国論』から『海国図志』へ—— | 榎原孝俊 | 東中野修道 |
| 15、吉田松陰の忠の思想 | 亜細亜大学 | |